

2023年度東京都山岳連盟ジュニア強化選手選考について

ジュニア強化事業は、東京都の国体選手育成などを目的に行われている事業である。ジュニア強化選手は、強化講習や強化合宿が受けられるほか、公式大会参加費用の一部が助成されることがある。また、関東小中学生選抜クライミング選手権大会等の派遣選考において優先される。

2023年度のジュニア強化選手の条件および選考方法は、以下のとおりである。

1. ジュニア強化選手の満たすべき条件は以下のとおりとする。
 - 1 将来、東京都の国体選手を目指す、2005年4月2日～2014年4月1日に生まれた者であること。（高校3年～小学4年）
 - 2 大会等で東京都山岳連盟所属選手として活動すること。
 - 3 東京都山岳連盟加盟団体である東京スポーツクライミングクラブに加入すること。
※年度会費あり
 - 4 JMSCAおよび東京都山岳連盟の主催、主管する大会や、ジュニア強化講習会へ積極的に参加すること。（JMSCAの大会に参加する場合は、JMSCA2023年度選手登録が必要）
 - 5 リード、ボルダリングの双方に意欲的に取り組むこと。
 - 6 行動規範を重んじ、東京都山岳連盟ジュニア強化選手としてふさわしい者であること。

上記の他、強化事業遂行のため、保護者の方には、東京都山岳連盟SC局の事業（大会スタッフ、ジュニア選手強化委員、国体・ジュニア選手強化予算管理など）への参加を必須とする。

2. 強化選手選考は都内在住、在学の選手より以下の基準を総合的に判断する。

- 1 東京選手権【リード/ボルダリング】の両方に出場
 - ・ 両競技の合計順位がより少ない者を上位とする。
 - ・ 合計順位が等しい場合、リードの成績を上位とする。
 - ・ 算出方法は国体選考と同等とする。
- 2 前年度開催のユース選手権で決勝進出した者（リード、もしくはボルダリング）
- 3 前年度開催のジャパンカップで準決勝進出した者（リード、もしくはボルダリング）

カテゴリーが異なる選手間の選考においては、将来のオリンピック、国体選手育成も見据え、男女・年齢層には配慮する。なお、ケガや病気、学校行事等やむをえない事情で、東京選手権【リード/ボルダリング】の一方、もしくは両方に出場できない場合でも、東京都山岳連盟の監督・コーチの推薦が得られれば、例外的にジュニア強化選手に選出されることがある。

但し、何らかの理由により東京選手権【リード/ボルダリング】の両方が中止になった場合は、2022年4月～2023年3月までに行なわれた（公式）大会成績を参考に選考を行う。また、悪天候等により東京選手権【リード】のみが中止になった場合は、東京選手権【ボルダリング】の成績と2022年4月～2023年3月までに行なわれた（公式）リード大会成績を参考にして選考を行う。（ジュニア強化選手公募においては、応募者に2022年4月～2023年3月までに行なわれた大会成績を申告してもらう。その際、大会結果の証拠書類を提出してもらうことがある。）

3. 選考対象者については、東京選手権【リード/ボルダリング】終了後、大会申込書類に記載された連絡先に連絡する。